



愛宕駅周辺・野田市駅西の 整備と連立事業の推進

愛宕駅周辺整備で 市街地の活性化

中心市街地活性化は、主な事業として5項目を掲げ、商業の振興と都市機能の充実を目指していますが、国では活性化支援に対し仕組みの見直しを予定しており、今後はその動向を見極めながら、活



愛宕駅東西の駅前広場を一体的に整備

清水公園駅の東口の整備や東西連絡自由通路、駅舎のバリ
アフリー化、また駅前線の整備をはじめ、連続立体交差事業
とあわせて愛宕駅周辺の整備、野田市駅西の土地区画整理事
業も着実に進めています。また、総合公園では、スポーツ施
設の充実や市民会館・郷土博物館を拠点とするキャリアアデ
ザインのまちづくりも進めています。

性化施策を進めていきます。

まず、「市街地整備事業」として、愛宕駅東口駅前広場、東西駅前線の新設や県道の拡幅整備を進めます。次に、「公共交通の利便性向上」として、県事業である東武野田線の連続立体交差事業を促進し、市街地へのアクセス向上を目指します。

そのほか、「商業の振興による活性化」、「都市福祉施設の整備」、「街なか居住の推進」は、今後の国の動向などを見極めながら、事業内容の詳細を決めていきます。

野田市駅西土地区画整理 事業で活力に満ちた街へ

野田市駅周辺地区は、野田市の産業活動に大きな役割を果たしている醤油醸造業が営まれ、古くから工場の貨物輸送を担うために鉄道が敷設されたため、駅周辺を工場とその関連施設が囲う形で、その後背地に住宅が立ち並ぶという形態でまちが発展してきました。

しかし、駅前広場や幹線道路などの未整備、商業・業務機能の集積不足など多くの問題を抱えています。



駅西側地区の区画整理も実施

ます。

そこで、東武野田線連続立体事業と一体的に都市基盤の整備を行い、交通の円滑化、都市機能の集積、安全で快適な都市空間をつくり、さらに歴史的、文化的資源を活用して、野田市の伝統産業と商業・業務機能が共存する魅力と活力に満ちた市街地を再構築することを目的として約6ヘクタールの区域で事業を進めています。

平成17年度に都市計画決定、18年度に県の事業認可を受け、現在公共施設充当地の取得を行っています。